

## 2. 人口の将来展望

人口に関する認識を市全体で共有するため、今後10年間の展望を示す。

- 国勢調査に基づく本市の人口は、これまで増加傾向で推移し、令和2(2020)年に約10万1,800人となっています。
- しかし、毎年的人口動態によると、本市の人口は平成30(2018)年をピークに減少局面に入りつつあり、令和42(2060)年には約7万3,900人となると推計されています。
- 将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるためには、**人口減少にブレーキをかけ、バランスのとれた人口構造にしていけることが必要です。**
- 本市の人口ビジョン\*1において、出生率の改善などが実現した将来展望人口として設定した「令和42(2060)年に82,100人」の確保を見据え、**今後10年間においては、多くの人が暮らしやすく、住み続けたいと思えるまちづくりを進めることで、人口の減少幅を可能な限り小さくしていきます。**

\*1 人口ビジョン…「伊勢原市人口ビジョン」まち・ひと・しごと創生法(平成26年11月28日法律第136号)に基づき、本市の人口の現状と将来展望を示したもの(平成27年度策定)

## 3. まちづくりの基本理念

本市がまちづくりを進める上で、共有すべき基本的な考え方を明確にするため、4つの「まちづくりの基本理念」を示す。

安全・安心な  
暮らしを守ります

災害や脅威に強く、誰もが日々の暮らしに安全・安心を実感できるまちづくりに努めます。また、将来世代が安心して住み続けられる環境を守るため、カーボンニュートラルを念頭に、環境負荷が少ないまちづくりを進めます。

多様なパートナー  
との連携を進めます

市民や地域をはじめ、様々な人材やノウハウを有する関係機関、企業、大学、各種団体など、多様なパートナーと連携・協力しながら、地域課題の解決に取り組むまちづくりを進めます。

強みを生かし  
まちの成長を促します

豊かな自然や日本遺産をはじめとする歴史文化、広域的な交通アクセスの優位性など、地域資源やまちの特性を生かしながら、まちの成長を促進し、活気と賑わいにあふれた魅力あるまちづくりを進めます。

時代にふさわしい  
行財政運営を進めます

将来にわたって持続可能な行政サービスを提供するため、健全で安定した行財政基盤の構築に努めます。また、各分野でのスマート技術の活用を促進し、市民の暮らしの質と利便性を高めるまちづくりを進めます。